

大規模災害時の物流の確保について

北陸地域国際物流戦略チーム 広域バックアップ専門部会

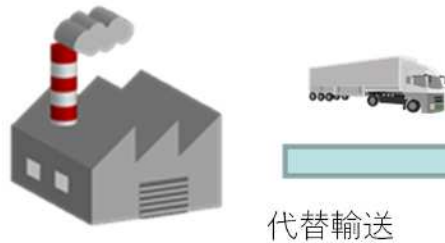
目的：首都直下地震や南海トラフ巨大地震等の際の最悪シナリオを考慮したバックアップ体制構築を目指す。（港湾分科会防災部会等からの指摘）
物流機能が低下した主要港のバックアップとしての機能を最大限発揮できるような港湾関係者及び荷主の体制構築。

被害状況：太平洋側の主要港の被害が甚大で港湾機能が大幅に低下。
荷主は、軽微な被害はあるものの生産活動に支障がなく輸送上の支障が出ている。

訓練実施状況：港湾関係者のみならず幅広い分野の方々が参加し、主に荷主の代替輸送を実施するまでのプロセスや事前準備などの在り方についての対策を検討。

成果

- 代替輸送手引書に荷主、陸運、港運、倉庫、船社、港湾管理者毎に初動から代替輸送までの手順チェックリストを作成。
- 代替輸送訓練により手引書の見直しを実施

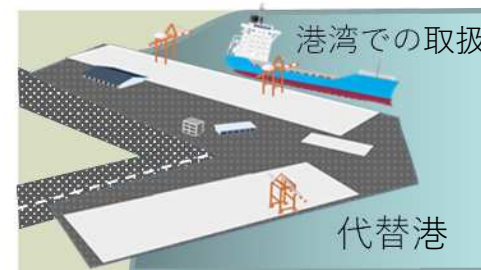


北陸地域港湾の事業継続計画協議会

目的：大規模災害により港湾機能が喪失した場合、北陸地域港湾の連携による相互支援が必要であり、災害対応力強化に資する広域事業計画を策定する。
北陸地域内の既存航路ネットワークを活用し、北陸地域の物流機能を継続させるため、支援港を利用した代替輸送を円滑に行う。

被災状況：北陸地方整備局管内の一部港湾での被害が甚大であるが、ほかの港湾には影響がない。
荷主は、軽微な被害はあるものの生産活動に支障がなく輸送上の支障が出ている。

訓練実施状況：直接的に港湾で業務を行う事業者（港運事業者、船舶代理店、船会社、関係官庁）が参加し、代替貨物の受け入れからの対応を中心に実施。



成果

- 代替輸送体制の標準フローを例示済み。
- 代替輸送手順書は、荷主による港湾の活動状況調べまで記載。
- 想定される事象の検証